

きつとね!通信

【第23号】

令和2年4月吉日

発行責任者 稲葉 秀一

編 集 長野 勝美



米沢のりひさ連合後援会・とかち幸せきつとね会

〒080-0012 帯広市西2条南3丁目20 帯広グランドホテル3階
TEL (0155) 26-7100 / FAX (0155) 26-8858

連合後援会・幸せきつとね会の 総会を開催しました

「米沢のりひさ連合後援会（会長有塚利宣）」並びに、資金管理団体の「とかち幸せきつとね会（会長 竹田晴司）」の通常総会が2月25日に、約100名の会員の皆様にご参加をいただき、市内のとかち館で開催されました。

当日は、新型コロナウイルスの感染予防のため、国が公表している対策を講じた上で、出来る限り短時間の開催に努めました。



主催者を代表して有塚会長、竹田会長の挨拶があり、令和元年事業報告、決算報告、会計監査報告、並びに令和2年事業計画案と収支予算案について審議され、全ての議案が提案のとおり承認されました。

また、今年は役員改選の年ではありませんでしたが、有塚連合後援会会長の勇退に伴い、新会長の選任議案も提案され、新しい会長が決まりました。

有塚会長は退任挨拶の中で、「十勝を一つにまとめ上げた米沢市長の手腕

と『フードバレーとかち』の政策によって、十勝の農業や産業が国から注目され、地域の発展に繋がっている。米沢市長は、十勝・帯広において代えがたい人材である。」と強調されました。



また、新たに後援会長に就任された稲葉秀一氏（帯広市医師会会長）は就任挨拶で、「米沢市長のオール十勝の政策『フードバレーとかち』は、医療の世界においても同様である。これだけ交通網や様々なインフラが整備され、一つの所で物事が完結することがなくなった今の時代においては、救急医療、災害医療、高齢者医療など、色んな分野において、どの地域にも負けないというしっかりとした体制を作らなければならぬ。セーフティネットが構築されない限り、地域の発展はないと考えている。」と述べられました。

有塚前会長は、平成27年に後援会長に就任されて以来、政治・経済界への影響力をもって米沢市長を支え、米沢市政3期目の立役者として活躍いた

だきました。役員・関係者一同、衷心より感謝とお礼を申し上げます。
また、新たに後援会長に就任された稲葉秀一氏は、帯広市医師会の会長として、長く地域の医療を牽引され、今後も高齢化や社会保障など、これからのまちづくりの重要課題解決に向けて後援会の立場から米沢市政を支えていただけるものと考えています。役員・関係者一同共に、会員各位のご協力をいただきながらの活動を一層推進してまいります。

総会にご出席された皆様、大変ありがとうございました。



市長より挨拶と近況報告がありました

総会終了後、米沢市長より挨拶を兼ねて、近況報告がなされました。

冒頭、米沢市長からは、有塚前会長について、既に亡くなっている自身の父親のような存在であり、大変お世話になった事への感謝の気持ちが述べられました。

また、稲葉新会長へは、自身の兄のような存在で縁の深さを感じると述べ、今後の協力と支援をお願いしました。



近況報告では、昨年11月から直近2月までの出来事を写真で振り返りながら、報告されました。

報告された項目は、①第一中

学校で生徒400人を前にした講演(11/27)、②市民オペラの開催と市長役での出演(12/14、12/15)、③道内7空港民間運営開始式典(1/18)、④首都圏で実施した「本気の移住実現プログラム」(1/21)、⑤経済同友会 地方創生本部での講演(1/24)、⑥北海道経済産業局との食と観光分野での覚書締結(2/7)、⑦帯広農業高校・白樺学園高校、甲子園選抜出場決定の応援セレモニー(2/12)、

⑧帯広・広尾自動車道整備促進要請活動(2/13)、⑨ローカル・イノベーション・フォーラム2020(2/14)、⑩新総合体育館オープンです。以下、特徴的な内容を掲載します。①の一中での講演では、生徒の感想として、「フードバレーとかち」が理解できたことや、「市長の仕事は幸せを考えること」と、分かったなどが寄せられ、この子供たちのためなら、さらに頑張れると思ったと話しました。

④の本気の移住実現プログラムでは、従来型の移住セミナーのようなものではなく、参加者を



今までの様々な十勝・帯広へのアクセスをもとに、こちらで選んで実施し、大きな手応えを感じたと話しました。

⑥の道経産局との覚書締結では、安藤局長は市長の前職ジャフコ時代に国の会社法の改正に関する委員に就任していた時の担当者であることが分かり、人とは様々な縁があり、常に真剣に取り組まなければと改めて感じたと話しました。

⑧の帯広・広尾自動車道は、実現すればオホーツクを含めた物流、経済圏が形成され、地域に大きなチャンスが生まれると話しました。

⑨のローカル・イノベーション・フォーラム2020の実施は、金融庁の仕掛けによって実現され、当日来られていた遠藤長官からは、「日本で様々な取り組みがあるが、十勝のイノベーションプログラムが日本で、本物だ。」との言葉があり、金融庁のレポートにもそれを書いてくれたと話しました。

●会からのお知らせ●

「後援会のホームページが新しくなりました」

●かねてより準備を進めて参りました「米沢のりひさ連合後援会」のホームページがリニューアルされ、4月1日より公開をしております。

アドレス <https://yonezawa-kittone.jp/> です。

米沢のりひさ

検索



きつとね!

●パソコン・スマートフォン・携帯電話からもOKです!

是非とも多くの皆様へアクセスいただき、お気づきの点などをお聞かせいただければと思っております。今後も、更に内容を充実し、皆様に様々な情報をお伝えしてまいります。